



古墳時代へタイムスリップ!!

こんぼくやま・いそべ・べざいてんこふんぐん

1まん2せんねんという遠い昔から鯖江には人々が暮らしていました。地面の下や山の上には昔のムラやお墓がたくさん埋もれています。とくに「弥生時代」や「古墳時代」には、土を削り盛った「古墳」と呼ばれるお墓がはやり、北中山や片上の山でもたくさんのお墓が見つかっています。そのうち“今北山・磯部・弁財天古墳群”は丹南地域を代表する大きな古墳群として注目されています。この古墳群はいつごろ誰がどのようにして造ったのでしょうか。この謎についてご紹介しましょう。



時代	おもなできごと
旧石器時代	3~4万年前 ナウマンゾウなどの狩りをして暮らす 日本列島が現在の形になる
縄文時代	1万2千年前 サバエに最古の狩人があらわれる 狩りと漁、採集の生活が行われる 四方谷に木の実をさらす水場がつくられる 〈玉山〉 〈四方谷岩伏遺跡〉
	4000 ~3000年前
弥生時代	2500年前 大陸から米作りが伝わる 大陸から金属器が伝わる サバエで銅鐸が使用される 〈新銅鐸〉 弁財天山にムラ(高地性環壕集落)がつくられる 〈弁財天古墳群〉 弁財天山から今北山にかけてたくさんのお墓(古墳)がつくられるようになる 〈今北山・磯部・弁財天古墳群〉
	2世紀
古墳時代	3世紀 卑弥呼が邪馬台国の女王になる
	4世紀 今北山に大きな前方後円墳がつくられる 〈今北山古墳群〉
	6世紀 ヤマト政権の国内統一が全国的にすすむ 継体大王が誕生する



お問い合わせ

今北山・磯部・弁財天古墳群保存会事務局
(鯖江市北中山公民館)

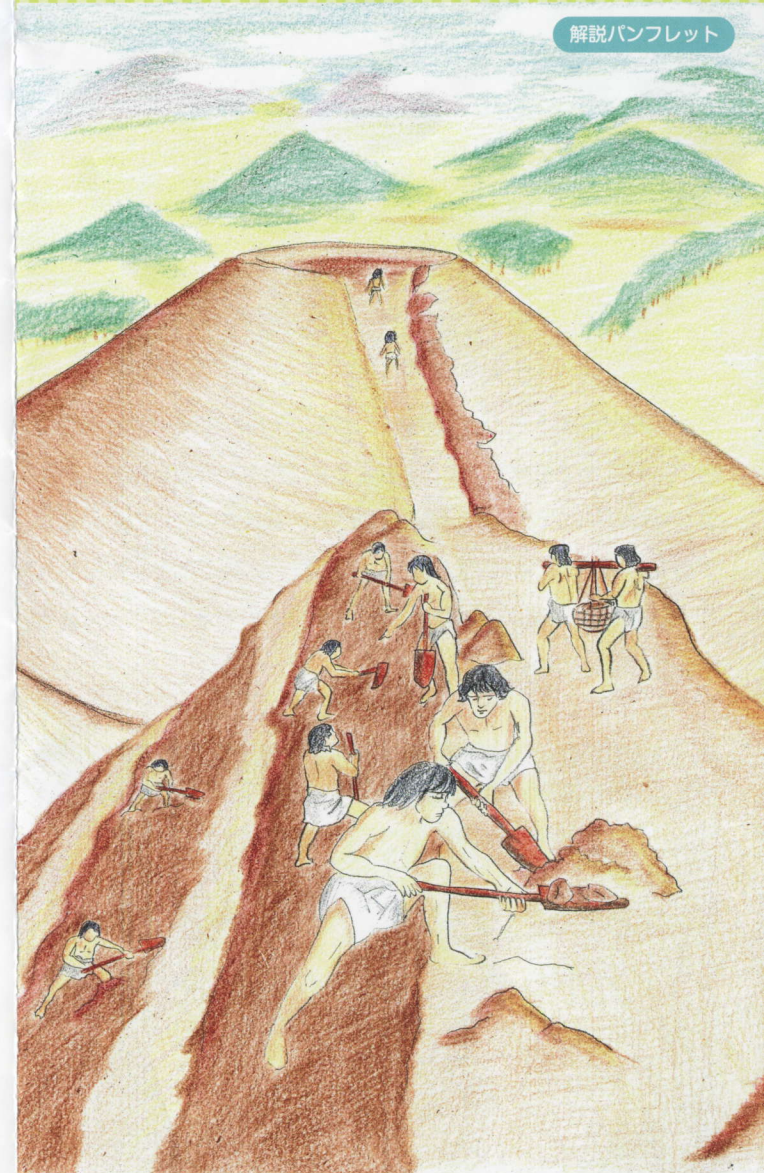
〒916-1115 福井県鯖江市落井町 41-33-1
TEL : 0778-65-1001 FAX : 0778-65-0832
e-mail : sc-cc-kitanakayama@city.sabae.fukui.jp

発行 今北山・磯部・弁財天古墳群保存会
監修 鯖江市教育委員会文化課
印刷 (資)藤田印刷所

こんぼくやま・いそべ・べざいてんこふんぐん

— 今北山・磯部・弁財天古墳群 —

解説パンフレット



今北山・磯部・弁財天古墳群保存会